

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成27年3月16日 (月)

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	ハートホーム宮野	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	理事長 阿武 義人	開設年月日	平成24年8月1日
設置者	社会福祉法人 青藍会	定員(利用人数)	29人(29人)
所在地	〒753-0011 山口市宮野下2996-1		
電話番号	083-934-5600	FAX番号	083-934-5605
ホームページアドレス	<a href="http://www.seirankai.or.jp">http://www.seirankai.or.jp</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

理事長・副理事長の想いである『古き良き日本家屋』を連想させるために木材の地産地消を実現して国内最大規模の木造軸組工法の施設であり、実際に一歩足を踏み入れれば懐かしい香りが感じられご利用者が落ち着かれています。要因の一つだといえます。

施設長を中心に法人の理念の実現を目指して「はあとカフェ」を施設内の地域交流スペースを解放し定期的に開催するなどして、情報発信や地域住民との関わりを大切に、地域密着型の総合福祉施設として着実に実践しています。また、施設開設後は業務を軌道に乗せることが優先で、業務分析をして課題を見つけ、その課題解決に取り組んでいくことは時間的にも体制的にも難しい中、開設後3年目で第三者評価の受審、自己評価を施設全体で行い又、ISO内部品質監査を導入するなど様々な課題に一つ一つ取り組んでサービスの質向上への前向きな姿勢は高く見られます。

#### ◇改善を求められる点

施設は地域福祉への貢献と経営基盤の安定が求められ、その実現の為に長いサイクルでの取り組みが必要となりますので中・長期計画の策定を今後期待します。また、マニュアルの整備や規定は整備されていますが法人として作成したものが多く見受けられます。質の高いサービス提供を目指す為には定期的に見直しを行いつつ自施設に合ったマニュアルを策定されることは求められるので、職員間で共通の認識を持ち続ける為にも見直しを望みます。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

この度、法人としても初めての第三者評価を受けました。当施設はまだ開設して3年目で、入居者も職員もまだまだこれから発展させていかなければならないと思っておりますが、当日の審査員の皆さんが、私自身が気付いていない当施設の良いところと一緒に探して下さったお姿が非常に印象的でした。

第三者評価の求める事柄は、家族や入居者の求めることでもあると私たちは考えます。今回評価していただけなかった項目をどのようにして、改善していくかが私たちの今後の検討課題になってくると思います。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	6	b	4	c	2	Na	0
<p>理念には法人の使命・役割・目指す方向が示され、利用者個人の尊重や福祉サービスの質の向上、地域貢献に向けた法人の方向が明文化されています。職員への周知という観点から職員ガイドブックの携帯を義務付け毎年度改定版を配布し朝礼で唱和しています。</p> <p>事業計画は中・長期計画と連動し整合性がとれたものにならないといけないため、単年度で完結が難しく課題も多いので、施設の運営指針を目指して中・長期計画の策定を望みます。</p>								

II 組織の運営管理	a	9	b	6	c	7	Na	0
<p>考課基準を明確にした人事考課制度が導入され、業務習熟度チェックシートや期待行動チェックシートに基づくフィードバック面接が定期的に行われています。利用者の安全確保の為に体制整備はなされており、医療安全委員会で事故要因を分析し再発防止に努め、危険予知トレーニング勉強会を開催し職員研修を行っています。</p> <p>ISO内部品質監査を毎年実施し、施設全体で経営改善に取り組んでいますが今後の施設運営の透明性確保の上からも外部監査を実施されることを期待します。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	18	b	1	c	3	Na	0
<p>理念や基本方針の実現に向けて利用者を尊重したサービスの実施や嗜好調査等、利用者満足の向上に向けて職員全体で努力していることが各種記録や調査当日の利用者へのヒアリングから伺えました。また利用者の状況等はネットカルテやユニット会議で情報を共有し、課題の把握や検討が行われています。</p> <p>施設全体のサービス内容評価は各ユニットで自主評価を行っていますが、評価結果を分析し浮かび上がった課題について具体的な改善計画は機能していないので今後期待したい。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	24	b	2	c	1	Na	1
<p>入浴方法や時間、食事の内容など出来る限り利用者の意向に沿ったサービスの提供がなされており、調査当日の利用者の様子やヒアリングからも信頼を得ていることが伺えました。また、施設内は清潔感が感じられ施設長を中心に職員は様々な工夫をしながら利用者の尊厳を尊重した良質なケアをおこなっています。</p> <p>機能回復の支援に関しては生活リハビリに留まっているので今後は療法士等の専門職と協働して利用者の活動量アップに繋がるプログラム作りを望みます。</p>								